

沖縄県本部町へ二千キロの交流

「南の国の真夏に挑む体験の旅」

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は、今年で14回目を数えます。「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、今回は、6月28日から7月2日までの日程で本部各小学校の6年生児童25名が本部町を訪れ、南国沖縄の暑さと文化を体験しました。温かく迎えてくださった本部町の皆さんとの思い出を参加した児童の感想文で紹介します。

「沖縄研修旅行」



幾寅小学校6年 及川 慎

ぼくが沖縄で楽しみにしていることは、首里城の見学と沖縄の小学校の人達と友達になることです。ぼく達は、4泊5日という短い期間で、思い出をいっぱい作るうと思いました。

1日目は、移動ばかりなので、一番楽しかったのは歓迎夕食会です。ぼく達は、この日のために「よさこいソーラン」を練習してきました。よさこいに成功すると、はくしゅしてくれましたのでうれしかったです。

そして2日目は、マリンスポーツと製作体験です。製作体験ではシーサーの意味や作り方を教えていただきました。カヌーはかたが

つかれて大変でした。ドラゴンボートは全てがすごかったです。

そして水納島での水泳体験もおもしろかったです。本部町立博物館では沖縄の動物がてんじされてい

ます。例えばヤンバルクイナやコノハチヨウというこん虫や動物のてんじがされています。そして3日目は、崎本小学校の合同学習で「よさこいソーラン」をしました。二日ぶりに踊るので

きんちようしたけど、うまく踊れてよかったです。南富良野町の紹介では、ぼくたちの班は、町のあらしを紹介しました。説明をしている時、あまりまちがいがなかった

次は、海洋博公園に行きました。公園では美ら海水族館と熱帯ド

リムセンターに行ってきました。水族館では、体長7メートルのジンベエザメがエサを食べている所を見れました。熱帯ドリームセン

ターではいろんな植物があつておもしろかったです。そして4日目は、首里城見学です。首里城は、世界遺産の物や時計に十二支の絵がかかれたり、守礼門があつておもしろかったです。



首里城「守礼門」

また行きたいなあと思いました。それに楽しくておもしろかったです。沖縄は、なんだかんだ言ってもすごく楽しくて、果物もおいしくて、いい所だと思います。

ホームステイでは、ホームステイ先の人がとても優しくむかえてくれたので、とてもうれしかったです。ホームステイ先の子は尋乃ちゃんという子でした。尋乃ちゃんは、とてもおもしろい子で楽しかったです。

沖縄で一番おいしかった食べ物、パッションフルーツでした。とても甘くて、おいしすぎて、ほつべたが落ちそうでした。沖縄のホテルで泊まった時の部屋のグループの人は、芹佳ちゃん

とあきちゃん和梨ちゃん下金山小学校の美保ちゃんと和ちゃん達でした。すごいゆかいで楽しかったです。一番最後に泊まったホテルは芹佳ちゃんといっしょでした。沖縄のホテルは、すごく熱

そうだなあと思つてたけど、クーラーが効いてて、いかに涼しかったです。沖縄の人はなまつたので、最初は何を言っているかわからな

「沖縄で楽しかったこと」



幾寅小学校6年 工藤 あき

私が沖縄で楽しかったことは、水納島での水泳体験です。海が初めてだった私には、すごく楽しかったです。それから船に乗って、水

納島まで行きました。私は船に乗るのも初めてなので、その日は初めてだらけの日でした。船から降りるのは、とても早く感じました。船ってこんなに速いな。と思

いきました。「水納島に着いたら、さあ、泳ぐぞーっ」と思ったら、「はい、じゃーみなさんこちらに着いてきてくださいーい。あれあれ？どこに行くのかな？」そして着いた所は、水納島の水納小学校、児童3名。・。・「すくなくーいっ!!」本当に小さな

とも気持ち良かったです。たまに海水がかかってくる目にしみてきました。一番前に乗るといいながめだし乗りたいなあと思いましたが、いい所だと思います。バナナボートから降りると、大きい魚がいきました。ぼくはフグの仲間だと思つたけど、みんなは「ハリをだしてないハリセンボンだ！」と言っていました。ぼくは「えー、本当にそつかな？」とぼくは思いました。今でも疑問に残っています。この魚他にも、青い魚、ウニ、カニなどおいて、ぼくは「海はいろんな生き物がいいるなあ」と思いました。2つ目は、水納島での海水浴です。水納島では、沖縄の人や幾寅小学校のみんなと楽しく泳ぎました。いつもは別の学校だけど、今週はみんなと遊べる時間がたくさんあるので、その時間を大切にしようと思つました。泳ぐ時には梅林君といっしょに泳ごうと言っていました。水温はなまぬるく感じました。水の中はすき通つていて、うすい青い色でした。中休みの時、直原君が「砂をかけて」と言うので、みんなでかけてあげました。直原君が起き上がると、まるでてんぷらにされたかのように砂がくっついてしまつて

小学校なんだな。私ならさみしいかも。それから小学校を出て、さつそく海!!楽しみだった海がもっと楽しくなる時間だー!!「早く泳ぎたいな」とわくわくしていたら、「もう入つていよー!!」わーい!!私は海につこんでいきました。「気持ちいいー!!」やっぱり初めての海はサイコー!!私はもうかんげいでした。そして、はしやぎすぎて海の水を飲みました。「こつくんわー!!」しょっぱーいっ!!海の水ってしょっぱいんだー、これも初めて。でも飲んだ人は私だけではありません。中森沙也ちゃんも、伊藤芹佳ちゃんも飲んだらしいです。それを飲んだあと、もぐつていける人がいたので私ももぐつてみると、「あーっ魚が泳でるー!!」気持ちよさそうにスイスイと泳いでいました。「え?これは・・・熱帯魚だあ!!」熱帯魚と言つのは、なまぬるい所にしか住めない魚で、冷たい所には

いっさいいません。その魚がなんどこに?そうです。沖縄は暑い。だから海の水がぬるいんです。熱帯魚がいてもおかしくないはず

です。とんだ大発見でした。お次になにやらくるい物体。・・・もしかして、ナマコ!?「あーっナマコ」。

3つ目は、ひめゆりの塔の資料館で、戦争の歴史を見てきたことです。人はあらゆる手を使って敵から身を守っていました。みんなは「すごいなあ、こんなことがあつたんだ」と見ていました。ぼくは「もし北海道もこんなことになつていたら」と思うとゾクゾクしてきました。洞窟を再現した所

や土器を集めた所もありました。他の所では、生き残つた人が本当にあつた話を、ありのままに書いて

かいた感じが、みんな必死だったのも分りました。想像していたよりも楽しい一週間になりました。また行きたい、その思い出をたくさん家族に話したいです。



マリンスポーツ「バナナボート」

6月28日月曜日に、私は、下金山小学校の6年生の人達と一緒に沖縄へ行きました。私が一番楽しかったことは、マリンスポーツをしたことです。マリンスポーツでは、バナナボートとカヌーを体験しました。カヌーは私的にむずかしくておもしろく



幾寅小学校6年 中江 菜花

なかつたです。バナナボートは初めて見たし、乗ってみても楽しかったです。サンゴのふつりん作りでは思ったより簡単で、作りやすかつたのでとてもおもしろかつたです。そ

れに、ふつりん作りは初めての体験だったので、すごくドキドキわくわくしました。ホームステイでは、ホームステイ先の人がとても優しくむかえてくれたので、とてもうれしかったです。ホームステイ先の子は尋乃ちゃんという子でした。尋乃ちゃんは、とてもおもしろい子で楽しかったです。



下金山小学校6年 野 淳

また行きたいなあと思つたので、それに楽しくておもしろかつたです。沖縄は、なんだかんだ言ってもすごく楽しくて、果物もおいしくて、いい所だと思います。

バナナボートに乗ったことです。最初にカヌーがバナナボートに乗ることになりました。沖縄の人が「1班と3班は先にカヌー、2班と4班は先にバナナボートに乗るよ!」と言われました。ぼくと大

橋君の班は2班だったので、先にバナナボートに乗ることになりました。うれしくて心の中では「やったあ」と気持ちをはずませていました。ボート乗り場に来て